

豊能町のめざす子ども像

「豊能町に誇りをもち、自信をもって社会を生き抜く子ども」

西地区の保幼小中一貫教育でめざす子どもの姿

- ①自ら考え、判断し、行動する姿
- ②ちがいをいかし、他者と協働する姿
- ③目標・夢・志をもって、学ぶ喜びを知り、探究し続ける姿

令和5年度 豊能町立光風台小学校 学校教育目標

学校目標：すべての児童にとって、楽しくてたまらない学校

- 重点目標：○ 自分も他の人も大切にし、積極的に人とつながり合う児童の育成
- 自ら考え、失敗を恐れずに挑戦できる児童の育成
- 目標に向かって、あきらめずに最後まで努力できる児童の育成

つけたい資質・能力の育成

何ができるようになるか

○学校教育の基本

- ・自ら課題を見つけ、意欲的に取り組む。
- ・自分の考えを、相手に伝わるように説明する。
- ・周りに流されず、自分で考えて行動する。
- ・温かい聴き方、優しい話し方ができる。
- ・互いの違いを認め合える。

何が身に付いたか

○学習評価を通じた学習指導の改善

- ・めあてを理解し、到達状況を振り返れる。
- ・人の意見を聞いて、自分の考えを深められる。
- ・学んだことを生活に生かそうとする。

子どもの実態

- 異学年同士仲よく遊べる
- 何事もまじめに取り組める
- 前向きに取り組もうとする気持ちがある
- △自分で考えて行動できない
- △失敗を恐れる。
- △見通しを持って行動できない
- △コミュニケーション力や表現力が不十分

子どもの発達をどのように支援するか

○配慮を必要とする子どもへの指導

- ・学年団会
- ・支援対策会議
- ・町支援担会議
- ・巡回相談
- ・個別ケース会議
- ・支援担会議
- ・SSW、SCとの連携
- ・いじめ・不登校対策会議
- ・全体ケース会議

めざす子どもの姿

- ・積極的に人とつながり合う子
- ・自分も他の人も大切にする子
- ・人の意見を素直に聞ける子
- ・やってみようと行動することができる子
- ・目標に向かって、あきらめずに最後まで努力できる子

何を学ぶか

○教育課程の編成

- ・めあてを明確にした挑戦できる学習課題
- ・基礎的な知識・技能の習得と活用
- ・教科横断的な学び(カリキュラムマネジメントの工夫)
- ・道徳、人権教育の充実(人権カリキュラムの充実)

どのように学ぶか

○教育課程の実施

- ・光小スタンダードにそった授業づくり(授業規律・めあて・ひとりの思考・共有・振り返り)
- ・子どもの主体的な課題設定と問題解決
- ・ゲストティーチャー、校外学習など多様なリソースの活用

実施するために何が必要か

○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

- ・校内研究授業の充実・ICTを活用した指導形態の工夫・光小スタンダードによる授業規律の確立・学力実態調査等の結果分析と指導改善
- ・データを活用した学級集団のアセスメント・集団作り研修の充実・自主性を重んじる児童会活動・係活動や委員会活動を通じた美的環境づくり
- ・花の栽培や魚の飼育を通じた命の教育・家庭、地域との連携・協働

安心・安全を守る

2

開かれた学校作り

◎ 教育目標達成のための取組み

I つきたい資質・能力の育成

①授業研究

・事前研、校内授業研、研究協議会。SE 授業公開。ルーブリック評価等の研修。書くことを中心に研究を進める。

②指導形態の工夫

・算数等での少人数指導、T.Tによる指導。1～6年外国語でALT等に加えて担任等が指導。3～6年専科指導、高学年での交換授業、合同授業。タブレットを活用した授業づくり推進。

③「光小スタンダード」、「学びのてびき」による学校と家庭の学習習慣の確立

④一斉朝読書を中心とした読書推進、家読（うちどく）

・朝読書。図書委員会による本の紹介、高学年による低学年への本の読み聞かせ。

・学級文庫の設置。司書やサポーターによる本の読み聞かせ。保護者対象の読書啓発。

・教科横断的な図書館活動の充実

⑤学力調査等の結果分析と指導改善

・全国学力・学習状況調査（4月18日）・府すくすくウォッチ（4月18日）・校内学力実態調査（全学年毎学期実施）・とよのチャレンジ実施（12月5日）・力試しテスト（2月）。・授業アンケート。

⑥放課後（わくわく教室）事業の実施 ⑦今年度の外国語活動・授業の実施

・1～2年年間10時間程度。3～4年で年間35時間、5～6年は年間70時間程度の外国語の授業。

II 豊かな人間性

①定期的な学級実態交流・毎学期1回のいじめ・体罰アンケート・児童会・委員会等の充実

②人権をテーマにした（集団づくり）に関する3回の研究授業、校内研修の実施、人権参観（道徳含む）

③児童会を中心とした朝の挨拶運動 ④係活動や委員会活動等を通じた学校の美的環境づくり

⑤花、野菜などの栽培、生き物の飼育を通じた命の教育の推進

⑥特別支援教育・通級指導教室の充実 支援学級、通級、特別支援の個別支援教育の実施

⑦SC・SSW等関係機関と連携したケース会議の実施 ⑧低中高学年での学年人権集会、『平和学習週間』

III 健康・体力

① 運動会、水泳指導などの学校行事、休憩時間・授業を通じた体力づくり

② 幼稚園との体力づくり連携ならびに児童会行事、委員会活動等遊びによる体づくり活動

③食育の推進（栄養教諭による食育指導 保健給食委員会の活動推進）

④保健指導の推進（給食後歯みがきタイム 養護教諭による保健の授業 保健給食委員会の活動推進）

IV 安心・安全

① 教職員ならびに地域の安全見守り、地区集会と集団下校訓練

② 地域の安全見守り隊や保護者、スクールガードによる、毎朝及び定期的な登下校見守り活動

③ 安全マニュアルの作成と各種避難訓練、防犯教室（5～6年）、不審者対応訓練（教職員）の実施

・災害発生時対応用「緊急カード」作成。地域防災と連携した保護者引取り訓練の実施。④ 救急救命講習

V 開かれた学校づくり

① 学校情報の地域への発信

・授業参観3回（ハイブリット型）。学級懇談会4回。個人懇談会2回。・学校だよりを地域、議会、サポーター等関係者へ回覧。・コドモン・学校ホームページ活用。②サポートボランティア・学生サポーター授業支援活動

③学校教育自己診断の実施 報告資料（学校改善を含む）の作成、配布

④学校運営協議会（月1回）・学校協議会（年3回）・学校保健委員会（年2回）の開催

⑤地教協や青育協やPTAと連携した、ふれあいのつどい、秋の日のつどいへの参加

⑥学校支援地域本部の設置、地域学校協働活動推進員を中心とした支援活動、放課後「わくわく教室」

⑦行事、奉仕活動などPTAと連携した学校の活性化